

令和5年度

# 高原小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「聴く・話す」力の育成と学び合いの充実を柱とした授業改善

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 (低学年) (中学年) (高学年) 委員 (特別支援教育コーディネーター)

校長

山口 茂

### 【各校の取り組み状況の把握について】

管理職による授業参観や校内研修等での教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

### (1) 知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや整数の四則演算等についてはある程度の定着が見られる。 ●基礎的・基本的な内容が身に付いていない児童もあり、学力に個人差がある。 ●語彙力が少なく、問題を読み取る力や文章を書く力に課題がある。	①授業中のきまりを守り、話をしっかり聴いて考えることができる。 ②基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。	①学習規律を明確にし、指導する。 ②音読、漢字、計算、意味調べ、視写、聴写などの時間を確保し、繰り返し指導する。 ③個々の特性に合わせた支援を工夫し、分かる授業をめざす。			

### (2) 思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを書くことができる。 ●集中力が持続せず、思考までたどり着けない児童がいる。 ●相手に伝わるような表現が難しい児童がいる。 ●友達の意見を聴いて、自分の考えを筋道を立てて話す力に課題がある。	①根拠を明らかにしながら筋道を立てて自分の考えを表現することができる。 ②自分の意見を発表したり、友達の意見と比べたり付け足したりして学び合うことができる。	①問題解決学習を取り入れるなどして、自分の考えがもてるような授業展開、発問、ワークシート、思考ツール等を工夫する。 ②発達段階に応じてペア、グループ学習を取り入れ、意見を交換し学び合う機会を取り入れる。			

### (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中の課題にまじめに取り組んでいる。 ○先生や友達の話を聴こうとする態度が育ってきている。 ○家庭学習の習慣がついている児童が多い。 ●自分の考えや思いを進んで書いたり話したりすることが苦手であると感じている児童が多い。	①学習活動や家庭学習に計画的に取り組む、楽しんで学習しようとするができる。 ②自分の思いや考えを進んで書いたり話したりすることができる。	①めあてと振り返りを大切に、児童が見通しをもって学習に取り組める授業を実践する。 ②主体的・対話的な深い学びの視点から、話し合い活動を取り入れた学習の充実を図る。 ③個々の特性に合わせた支援を工夫し、ICT等を活用して分かる授業をめざす。 ④「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習の時間と質を確保する。			

## 令和5年度 学力向上ロードマップ

